

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成25年2月1日
【四半期会計期間】	第51期第2四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	株式会社アクシーズ
【英訳名】	AXYZ Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐々倉 豊
【本店の所在の場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【最寄りの連絡場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第2四半期連結 累計期間	第51期 第2四半期連結 累計期間	第50期
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 7月1日 至平成24年 12月31日	自平成23年 7月1日 至平成24年 6月30日
売上高(千円)	8,009,660	7,796,542	15,221,927
経常利益(千円)	466,682	394,579	493,305
四半期(当期)純利益(千円)	287,435	264,795	326,236
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	288,164	270,958	325,687
純資産額(千円)	6,022,081	6,260,361	6,059,604
総資産額(千円)	8,933,889	8,950,088	8,582,517
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	51.18	47.15	58.09
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	67.4	69.9	70.6
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	511,788	40,042	362,338
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	137,195	65,773	56,676
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	120,657	94,448	161,166
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,627,790	1,157,048	1,357,312

回次	第50期 第2四半期連結 会計期間	第51期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	23.81	36.90

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに生じたリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要や新興諸国の堅調な経済成長に牽引され回復が期待されたものの、欧州債務問題の長期化、長引くデフレーションや円高傾向を受けて、先行き不透明な状況が継続し、企業収益や個人消費は停滞しました。

鶏肉業界におきましては、過剰な国内鶏肉在庫による市況の弱含みに加え、米国中西部での大規模な干ばつによる飼料用穀物価格の高騰もあり、依然として厳しい事業環境で推移しました。

この中で当社グループは、効率的な事業運営体制の確立に向け、飼料製造から種鶏飼育、雛生産、ブロイラー飼育及び鶏肉生産加工までの一貫体制の中で更なるコスト削減に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は77億96百万円（前年同四半期比2.7%減）と減収となり、営業利益3億22百万円（同22.4%減）、経常利益3億94百万円（同15.5%減）となり、四半期純利益2億64百万円（同7.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

鶏肉関連

国内鶏肉相場は低調に推移したものの、当社グループの柱である当該事業のブロイラー増産により、当社製品「薩摩ハーブ悠然どり」の販売数量が伸びたことに加え、当該製品の品質優位性を利用した鶏肉加工食品の販売も好調に推移いたしました。

以上のことから、売上高は62億79百万円（前年同四半期比0.1%増）増収、セグメント利益は1億86百万円（同27.1%減）の減益となりました。

外食

食事業におきましては、ケンタッキーフライドチキン店舗でのキャンペーンが前年度に比べ奏功しなかったことから、売上高は15億17百万円（前年同四半期比12.6%減）、セグメント利益は1億34百万円（同14.8%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億67百万円増加し、89億50百万円となりました。これは主に、たな卸資産が3億31百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億66百万円増加し、26億89百万円となりました。これは、1年内返済予定長期借入金が24百万円減少したものの、買掛金が1億46百万円、未払法人税等が45百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億円増加し、62億60百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億94百万円増加したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、11億57百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、40百万円の資金減少(前年同四半期は5億11百万円の資金増加)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が3億97百万円あったものの、たな卸資産の増加が3億31百万円、売上債権の増加が1億19百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、65百万円の資金減少(前年同四半期は1億37百万円の資金増加)となりました。これは、貸付金の回収による収入が1億44百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が1億95百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、94百万円の資金減少(前年同四半期は1億20百万円の資金減少)となりました。これは、長期借入金の約定返済による支出が24百万円と配当金の支払額が70百万円あったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の金額は、50百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,350,000
計	19,350,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月1日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,617,500	5,617,500	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 (100株)
計	5,617,500	5,617,500	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	5,617,500	-	452,370	-	428,340

(6)【大株主の状況】

平成24年12月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
伊地知 恭正	東京都文京区	938	16.69
有限会社照国興産	鹿児島県鹿児島市照国町	600	10.68
伊地知 昭正	鹿児島県鹿児島市	531	9.45
伊地知 高正	鹿児島県鹿児島市	502	8.95
伊地知 芳正	東京都江東区	502	8.95
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町一丁目	210	3.73
株式会社鹿児島銀行	鹿児島県鹿児島市金生町	190	3.38
村尾 万紀子	大阪府豊中市	185	3.29
伊地知 洋正	東京都文京区	185	3.29
伊地知 剛正	東京都文京区	185	3.29
計	-	4,029	71.73

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,615,800	56,158	-
単元未満株式	普通株式 300	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,617,500	-	-
総株主の議決権	-	56,158	-

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アクシース	鹿児島市草牟田二丁目1番8号	1,400	-	1,400	0.02
計	-	1,400	-	1,400	0.02

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年7月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,407,312	1,207,048
受取手形及び売掛金	1,300,546	1,419,842
製品	196,482	189,631
仕掛品	176,384	202,891
原材料及び貯蔵品	734,342	1,045,968
その他	186,926	370,566
貸倒引当金	767	978
流動資産合計	4,001,227	4,434,970
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	345,705	340,265
工具、器具及び備品(純額)	431,324	484,707
土地	2,759,987	2,760,387
その他(純額)	66,944	81,820
有形固定資産合計	3,603,961	3,667,180
無形固定資産	36,849	27,490
投資その他の資産		
投資その他の資産	944,435	823,199
貸倒引当金	3,956	2,753
投資その他の資産合計	940,478	820,446
固定資産合計	4,581,289	4,515,117
資産合計	8,582,517	8,950,088
負債の部		
流動負債		
買掛金	360,963	507,860
1年内返済予定の長期借入金	24,250	-
未払金	974,234	1,032,233
未払法人税等	91,739	137,076
その他	154,922	154,348
流動負債合計	1,606,108	1,831,519
固定負債		
社債	499,800	499,800
退職給付引当金	188,703	183,915
役員退職慰労引当金	107,370	100,036
その他	120,929	74,455
固定負債合計	916,804	858,207
負債合計	2,522,913	2,689,726

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	452,370	452,370
資本剰余金	428,340	428,340
利益剰余金	5,141,203	5,335,798
自己株式	1,087	1,087
株主資本合計	6,020,826	6,215,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,777	44,940
その他の包括利益累計額合計	38,777	44,940
純資産合計	6,059,604	6,260,361
負債純資産合計	8,582,517	8,950,088

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
売上高	8,009,660	7,796,542
売上原価	5,487,636	5,456,346
売上総利益	2,522,024	2,340,195
販売費及び一般管理費	2,106,530	2,017,579
営業利益	415,493	322,616
営業外収益		
受取利息	1,528	1,130
受取配当金	1,212	1,215
持分法による投資利益	45,828	43,535
その他	19,640	33,899
営業外収益合計	68,208	79,780
営業外費用		
支払利息	4,433	3,796
為替差損	10,681	-
その他	1,903	4,021
営業外費用合計	17,019	7,817
経常利益	466,682	394,579
特別利益		
受取保険金	-	47,405
特別利益合計	-	47,405
特別損失		
固定資産除却損	686	-
固定資産圧縮損	-	44,918
特別損失合計	686	44,918
税金等調整前四半期純利益	465,996	397,066
法人税、住民税及び事業税	168,151	140,353
法人税等調整額	10,409	8,082
法人税等合計	178,561	132,271
少数株主損益調整前四半期純利益	287,435	264,795
四半期純利益	287,435	264,795

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	287,435	264,795
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	729	6,162
その他の包括利益合計	729	6,162
四半期包括利益	288,164	270,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	288,164	270,958

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	465,996	397,066
減価償却費	133,973	126,468
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,098	4,788
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,481	7,334
受取利息及び受取配当金	2,740	2,345
支払利息	4,433	3,796
持分法による投資損益(は益)	45,828	43,535
固定資産圧縮損	-	44,918
受取保険金	-	47,405
売上債権の増減額(は増加)	334,795	119,296
たな卸資産の増減額(は増加)	2,580	331,282
その他の流動資産の増減額(は増加)	15,434	216,861
仕入債務の増減額(は減少)	130,086	146,897
その他の流動負債の増減額(は減少)	291,502	62,131
その他	17,051	25,200
小計	645,975	16,770
利息及び配当金の受取額	2,740	2,345
利息の支払額	4,390	3,768
その他の収入	19,640	31,923
その他の支出	1,154	4,021
法人税等の還付額	7,610	41,386
法人税等の支払額	158,632	91,138
営業活動によるキャッシュ・フロー	511,788	40,042
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	50,000	60,000
定期預金の払戻による収入	100,000	60,000
有形固定資産の取得による支出	39,338	195,356
無形固定資産の取得による支出	2,994	-
貸付けによる支出	21,500	20,400
貸付金の回収による収入	152,200	144,400
敷金及び保証金の差入による支出	1,714	1,440
その他	542	7,023
投資活動によるキャッシュ・フロー	137,195	65,773
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	50,500	24,250
配当金の支払額	70,157	70,198
財務活動によるキャッシュ・フロー	120,657	94,448
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	528,326	200,264
現金及び現金同等物の期首残高	1,099,464	1,357,312
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,627,790	1,157,048

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	1,184千円	2,423千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
販売手数料	92,014千円	84,691千円
荷造運搬費	445,327	469,958
役員報酬	67,627	58,277
従業員給与手当	326,973	299,607
雑給	357,102	312,349
役員退職慰労引当金繰入額	5,481	4,657
退職給付費用	5,943	4,293
減価償却費	43,113	38,799
賃借料	221,472	242,126
研究開発費	49,931	50,718

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
現金及び預金勘定	1,677,790千円	1,207,048千円
預入期間が3か月を超える定期預金	50,000	50,000
現金及び現金同等物	1,627,790	1,157,048

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月22日 定時株主総会	普通株式	70,200	12.50	平成23年6月30日	平成23年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月21日 定時株主総会	普通株式	70,200	12.50	平成24年6月30日	平成24年9月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,274,135	1,735,525	8,009,660	-	8,009,660
セグメント間の内部売上高又は振替高	147	-	147	147	-
計	6,274,282	1,735,525	8,009,807	147	8,009,660
セグメント利益	256,332	157,566	413,899	1,594	415,493

- (注) 1. セグメント利益の調整額1,594千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,278,974	1,517,567	7,796,542	-	7,796,542
セグメント間の内部売上高又は振替高	87	-	87	87	-
計	6,279,061	1,517,567	7,796,629	87	7,796,542
セグメント利益	186,813	134,210	321,023	1,592	322,616

- (注) 1. セグメント利益の調整額1,592千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	51円18銭	47円15銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	287,435	264,795
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	287,435	264,795
普通株式の期中平均株式数(株)	5,616,060	5,616,060

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年1月29日

株式会社アクシーズ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 工藤 重之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 竹之内 高司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アクシーズの平成24年7月1日から平成25年6月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年7月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アクシーズ及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。